

## 7.【大会印象記】

森尾晴香（筑波大学大学院農学研究科、旧姓：佐藤）

20世紀最後の村研大会に、私は会員として、また報告者として、初めて村研大会に参加させていただきました。振り返ってみて、大会中は多くの先生や研究者の方々からアドバイスを頂き、よき出会いもあり、実り多い充実した3日間であったと実感いたしております。

出発前は初めての発表ということで、とても緊張しておりました。しかも周囲の村研にまつわる体験談というものは、容赦ない議論が時間無制限でおこなわれた、引き続いて夜も合宿所で質問責めにあった、朝まで酒を飲んでたいへんな思いをしたなどというもので、ほとんど脅かされていたという感じでした。つくばでレジュメをつくっていても、きっとここが指摘されるだろうな、ここが足りないな…などと次から次へと不安がよぎりました。

しかし四国という初めての土地が幸いしたのか、飛行機とバスを乗り継いで松山駅に到着したとたん、名物の“讃岐うどん”や“じゃこ天”などに目が奪われてしまい、昼ご飯の後にもさらに食事をし、すっかり気分がよくなってしましました。しかも、よせばいいのにせっかくだから愛媛の景色を見ておこうなどと思いつき、鈍行列車に乗って約3時間半、しかも卯之町に到着するころには真っ暗で景色もまったく見えずという小旅行をしてしまいました。出迎えのマイクロバスに間に合ったからよかったものの、卯之町から明浜町まではさらにバスで山道を30分以上走ることになり、遠くに浮かぶイカ釣り漁船の灯りを見ながら、無茶なことをしてしまったと反省しました。

翌日の個別発表での順番は4番目。自分の番がくるまでは、ついつい発表原稿に目がいってしまいました。マイクをもったときにやっと落ちていたものの、早口になってしまったり、時間不足のために抜いてしまった箇所もありました。しかし、発表後は東敏雄先生や高橋明善先生はじめ、多くの先生方から鋭いご指摘やあたたかいアドバイスをいただき、そのたびに深くうなづかされました。発表後の昼食の時間でも、多分野の先生方からアドバイスやご質問をしていただき、箸をとる時間がもったいないほどでした。

その夜には、受けたご質問やご意見などをノートに思い出せるだけ書いてみました。今でもそのページを開くと、いかに私の視野が狭く、資料を読みとる力が欠けていたのか痛感いたします。世にむかって自分の主張を述べる緊張感や、多くの研究者から研究を見られる恐さを味わさせて頂きました。と同時に、卒論から取り組んできた群馬県北橘村の農村経済更生運動についての研究を、ささやかながらも世の中に発表したのだという喜びもこみ上げてきました。この村研大会は私にとって発表の場というだけではなく、研究という長い道へのスタートラインにやっと立てたような、そんな想い出深いものとなつたことに感謝いたしております。

さらに、大会中にはよき出会いもありました。宿泊した部屋（トレーラーハウス！）で一緒にになった方とは今でもメールで研究上の悩みなどやりとりさせて頂いております。ま

た、私が調査地でお世話になっている家のご親戚だと名乗りでて下さった研究者の方もいらっしゃいました。群馬県の小さな村でつながったご縁に、遠い四国でお目にかかるとは不思議な想いがいたしました。同じ茨城県内にお住まいの先生からは、大会後にご著書やアドバイスを頂き、大学の外にてて、研究者同士の学問的な刺激を受けることの大切さを実感しております。

また食べ物のことばかり書き上げて申し訳ありませんが、3日目のエクスカーションで訪問した、内子町の農産物直売所“からり”では麦味噌を大量に買い、今も美味しくいただいています。あのおばあちゃんたちは今日もバーコードシステムを操り、ハツラツと働いていることでしょう。明浜町から発送した無添加のみかんジュースは外国産オレンジや濃縮還元ジュースとはちがって、すっきり、さわやか、周囲にも大好評でした。みかんは宿泊所でもふんだんに配られ、さすが“みかん王国”という感がいたしました。2日目の現地セッションではみかんの経営方針をめぐる農協や個人農園、双方のストレートな意見を目のあたりにし、産地形成における意志決定の難しさを実感いたしました。

懇親会での食事は海の幸尽くし。鯛やサザエのバーベキュー、鯛めし・鯛しゃぶ・鯛の焼きものなど、関東の人間からしてみれば贅沢この上ないといった料理ばかりで、三年分の鯛を食べ尽くしたような感じです。こうして“土地の恵み”を美味しくいただけるのも、それを担う人たちが安心して働き、暮らしを營み、海や土壌などの自然環境を守っているおかげです。21世紀も村研大会は全国各地で開かれるようですから、ぜひこのような楽しみが続くよう目を向けていかなければと思います。長くなりましたが、最後にこの想い出深い大会を支えてくださった皆様方にお礼を申し上げます。今後はこの大会で得たものを大事に育み、前進していくけるよう努力していきたいと思います。